2021.2.5

総合計画審議会
専門部会資料

資料第1号

有識・議員部会、市民部会の検討結果について

都市政策課

有識・議員部会におけるこれまでの検討

歴史的背景 background

過去からの交通の要所
京都・大阪との関係性
▶ 人々が行きかう

大阪の守りの要所
阪神工業地帯の中心
日本経済を牽引する都市の一つ
▶ 人々が集まる

戦後の復興
公害の克服
水害・災害からの復興
▶ 人々が力を合わせる

■ 第1回

各委員による「尼崎らしさ」のプレゼンテーション

■ 第2回

尼崎の歴史の学びを踏まえた「尼崎らしさ」の意見交換

■ 第3回

まちの将来像について
将来像の実現、課題の解決に向けてできること

“まち”に“ひと”が組み合わさることで、物語が生まれ、“らしさ”に。

まち Ma chi

- 交通の利便性
- 生活の利便性
- 病院・公共施設等の充実
- コストパフォーマンス高
- 古い歴史
- 代わり映え（変貌）
- 平坦な地勢
- つながりやすさ
- 開放的
- 産業都市
- 住工混在
- 新旧混在

×

ひと Hi to

- 高い包容力
- 結束力
- あたたかさ
- 懐の深さ
- 庶民性
- 商売人気質
- 人情味あふれる
- おもしろい
- 好奇心が強い
- 清濁併せのむ強さ
- 行動力
- たくましさ

住みやすさ
多様性 （ごちゃごちゃ感）
にぎわい

あまらしさ identity ← プライドへ

マナーが悪い
治安が悪い
マイナスイメージ

有識・議員部会意見を踏まえた将来像

誰もが居心地の良いまちに向けて

・認め合い、ありのまま（等身大）でいられるまち

・誰もがまちの一員になれるまち

・あり方にとらわれることなく、
自分らしく暮らせるまち

・多様な価値観に出会い、刺激が受けられるまち

（つながり　から）

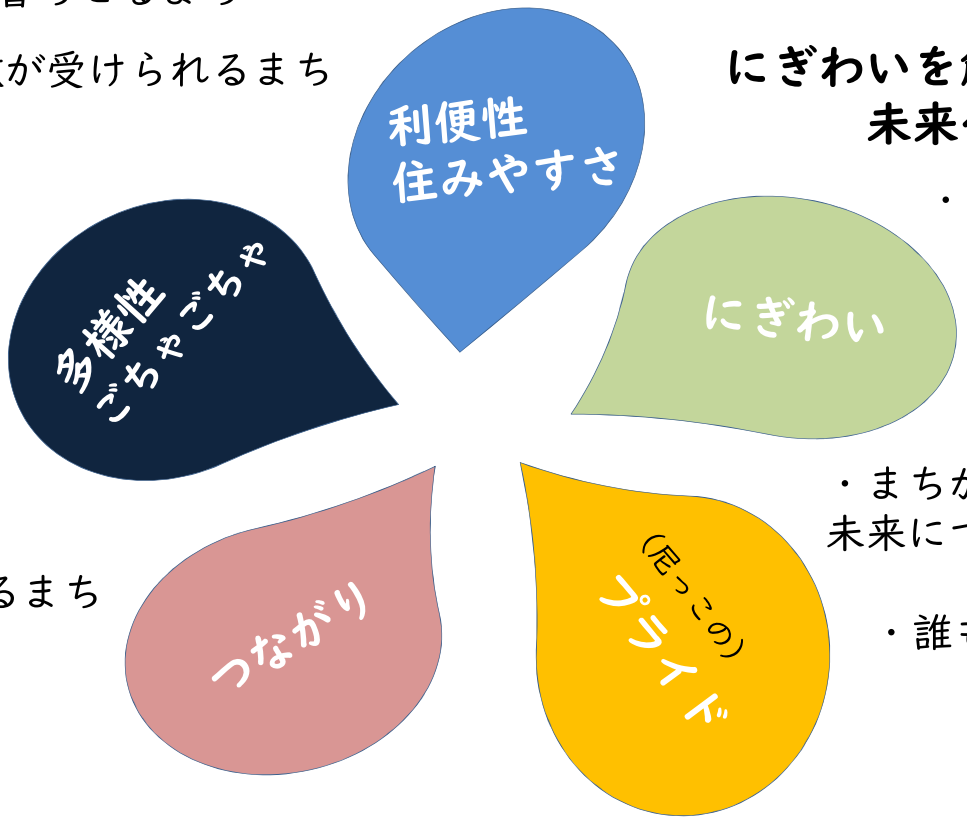
充実した日々を過ごせるまちに向けて

・ライフスタイルをデザインできるまち

・仕事と生活を充実できるまち

・新しい暮らし方ができるまち

（時間を有効に使える　から）



にぎわいを創出し、
未来へつなぐまちに向けて

・賑わいをともにつなぎ、
継承するまち

・人とともに成長するまち

・まちが積み重ねてきた歴史を守り、
未来につなぐまち

・誰もがまちの未来を想えるまち

・多様な生き方ができ、
やりたいことが見つかるまち

（まなび・つながり　から）

・つながり、支えあえるまち

・ひとやまちとのつながりを実感できるまち

つながりを大事にできるまちに向けて

・誰にでも開かれたまち

・自分の居場所があるまち

誰もが愛着と誇りを感じるまちに向けて

市民部会における検討

・テーマ

- ■ 第1回　各委員が思う・感じる「尼崎らしさ」（良い点・悪い点）の洗い出し
- ■ 第2回　「尼崎らしさ」（良い点・悪い点）の整理　～歴史から学んだ「尼崎」をふまえて～
- ■ 第3回　「尼崎らしさ」（良い点・悪い点）のまとめ、まちの将来について
- ■ 第4回　将来像の実現、課題解決に向けてできること

ワークショップを中心とした意見交換を実施

・「尼崎らしさ」（良い点・悪い点）のまとめ

「尼崎らしさ」（良い点）

- ・便利で暮らしやすい（職住近接）
- ・便利だから自分の時間が作れる
- ・自転車でどこでも行ける
- ・治安・マナーが向上
- ・暮らし方が選べる
- ・チャレンジできるまち
- ・市民活動が盛ん、でもまだ一部
- ・学びの環境が整っている
- ・中小企業が多い
- ・多様性があり、それを受け入れる土壌がある
- ・個性的な人が多い
- ・人情味がある
- ・自虐的な人が多い
- ・笑いに変えられる
- ・下町気質
- ・好きなように
- ・自然が豊か（21世紀の森づくり）
- ・環境意識が高い
- ・歴史がある
- ・まちの資源が多い
- ・まちに愛着をもっている
- ・イベントが多い
- ・ギャップが生まれる（尼崎市に住む前と後）

「尼崎らしさ」（悪い点）

- ・まちのイメージが悪い
- ・交通ルールが守れていない
- ・悪いニュースが多い
- ・マナーが悪い
- ・ポイ捨て
- ・歩きたばこ
- ・発信力不足
- ・学びの活動への参加者が少ない
- ・ゆるさ（なあなあ）
- ・都市部の課題の広がりが速い
- ・扶助費が大きい
- ・災害に弱い（洪水の危険性が高い）
- ・商店街が多いがさびれている

「尼崎らしさ」を踏まえた将来像（市民部会）

学びと活動が循環するまち
・学びを活かすしかないまち
・学びが実感できるまち
・自分らしくいきいき輝けるまち

まちに自然がとけこみ、一歩先の暮らし方を実現できるまち
・SDGｓ先進都市
・新しい暮らし方を選べる実現できるまち
・自分たちで環境をつくり守るまち
・田んぼのある、とんぼのいるまち
・自然が生活の中にとけこんでいるまち

Another　SDGｓ（Sustainable Diversity Goodness）
・グローバルシチズンを意識するまち
・多文化を尊重しあえるまち
・垣根がないまち
・自分にあったくらし方ができるまち

自虐を交えた尼崎にしかない文化を持っているまち
・自虐をおもしろがるまち
・尼崎市民体操で有名なまち

人とつながり気軽にあいさつできるまち
・道ですれ違うと挨拶ができる人と人とのつながりがあるまち
・子どもが知らない人にもあいさつできるまち
・お隣さんの名前がわかるまち

マネしたくなるまち
・大阪・神戸に次ぐ阪神間のリーダー的なまち（産業・教育・環境）

市民全員わがまち自慢ができるまち
・地域資源、歴史が引き継がれ誇りが持てるまち
・自分のまち（地域）に誇りや愛着を持ち誰かに自慢したくなるようなまち
・ひとり1推しがあるまち
・まちの良さをきちんと発信できるまち

たすけあって生きるまち
～地域で育て見守り支え合うまち～
・子育て世代に優しい安全安心なまち
・気軽に頼れる人が多いまち
・子どもも高齢者も皆で見守るまち
・100人で育てるまち

災害の前後を意識し、備えと復旧ができるまち
・災害が起きたとき早く復旧ができる体制が整備されているまち
・防災への意識が高く災害に強いまち

生きがいとやりがいを実感でき、居心地の良いまち
・年をとりたくなるまち
・市民みんなに居場所と役割があるまち
・老若男女参画協働都市

あらゆることに挑戦できてやりたいことを実現できる協力のしくみがあるまち
・挑戦できる風土があり、失敗を受け入れる包容力のあるまち
・やりたいことを実現できるまち
・ファミリー世帯が定着しているまち
・可能性を引き出しチャレンジできるまち

中小企業が生き残り、連携し、新しいイノベーションを起こし世界にインパクトを与えるようなプロジェクトが行われているまち
・企業と地域が近いまち
・チャレンジし続ける企業と人がいるまち
・中小企業が連携して大きなプロジェクトに取り組んでいるまち

シャッター商店街がなく若者のアンテナショップが多く近隣都市からの来る方が多い賑わいのあるまち
・商店街に若者のカルチャー拠点があるまち
・人々が行き交い活気のあるまち

安全・安心を実感できるまち
・普通のことが当たり前にできるまち
・住んで安心と思えるまち
・ポイ捨てや不法投棄がなく、きれいなまち
・安全・安心を誇れるまち
・人々が秩序を重んじマナーのよいまち

将来像の実現に向けてできること（市民部会、有識・議員部会）

有識 議員

・シビックプライドの醸成
（あまっ子としての誇りを持つ）

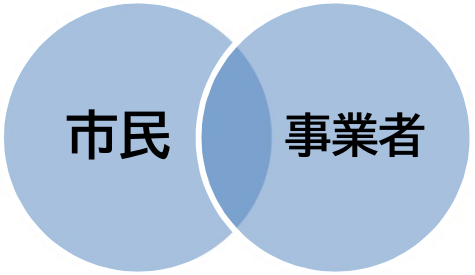
・自虐をやめて、誇りをもつ。PRする。

・マナーやエチケットを身につける

・助け合い、お互い様という考え方を持つ。

・知恵を働かせる

・地域で子どもを育てる



・商工会議所と社会福祉協議会の連携

・（社協として）市民自治の促進に向け、
地縁だけでなく、NPOなどのプラットホームとして

・（金融機関として）企業が集まる仕組みをつくる。

・わかりやすい目標をたて発信する。

・チャレンジする

・市民・事業者がつながり、小さな力を大きくしていく
（ネットワーク力を行使する）

市民

市民・事業者ができること

・困り事などを持ち寄り自分達で解決
・親から子へ市の良いところを教える
・尼崎市の良さ、歴史を学び他者に伝える
・失敗できる、再チャレンジできる空気をつくる
・空き店舗を一定期間無償で貸出す
・ごみを拾いやすいようにシェアゴミ箱を広く設置する
・大人から子どもへのあいさつする
・1日1善（お互い気持ちよく）
・できる範囲で緑化ガーデニング
・色々な国の文化を学び、知ることで受け入れることができる
・自分で主体的に学びの機会を探す・創る（知人を巻き込む）
・災害について学び、普段から災害が起きたときの準備をしておく
・地域活動（行事）への参加
・高齢者雇用を促進する
・外国人が働きやすい環境を整える
・まちをきれいにクリーン運動に参加
・事業所の空きスペースの有効活用

協働でできること

・単身世帯と子育て世帯をつなぐ居場所づくり
・市内の休耕地を地域農園にしてみんながつどえる場に。
・地産地消で100%まかなえるようにする
・地区ごとで美化を競う
・小中学校の放課後に大学生が学習支援（大学との連携）
・サマセミや尼崎大学の規模をさらに拡大し、市全体で実施
・学校間の交流（小学校同士など）
・市民、事業者、行政で全市的な防災訓練を実施する
・多文化コミュニティの新設及びPR
・外国人市民会議の実施（住みやすさ/住みにくさを共有）
・定住外国人向け日本語教室でボランティアを増やす、尼ツアーの定期開催
・中高生に自治会（地域づくり）の担い手になってもらう
・市民と一緒にシティプロモーション
・チャリティショップを増やす

サポートが必要なこと

・市が何をしているかわかりやすくPR
・災害が起きた時、要支援者の把握に努める（情報発信を含める）
・学びの活動の運営に対する支援や団体とのつなぎ役
・困っていることを伝える場の設置
・学びの場の設定（市民と事業者のマッチング）
・「やりたいこと」「必要なもの」「できること」をシェアできるツール
・「必要ないこと」「もの」を匿名でシェアできるツール
・事業者同士が手をとりあえるシステム
・尼崎で今活動している若者から学べる仕組みの構築
・アイデアチャットの仕組みづくり
・失敗大笑（挑戦しやすい仕組み）
・オンライン請願・提案システム
・企業の能力が見える化
・見守りカメラを市内全域に設置
・市民活動の発表の機会を増やす
・外国人受入事業に対する支援